

3月
定例会
2/24~3/20



審議議案

市制施行60周年

ワンランクバージョンアップした鴻巣市へ

3月定例会は、2月24日から3月20日までの25日間の会期で開かれ、市長から提出された「平成26年度鴻巣市一般会計予算」など39件の議案について慎重審議し、すべての議案が同意及び原案のとおり可決されました。また、4日間にわたる一般質問では、19名の議員が登壇し、市政について活発な論戦を展開しました。最終日には議員提出議案として「総合病院誘致の実現を求める決議」が提出され可決されました。

平成26年度 会計別当初予算額

(単位：千円)

一般会計		37,985,000
特別会計	国民健康保険事業	13,005,000
	介護保険	6,450,000
	北新宿第二土地区画整理事業	871,000
	広田中央特定土地区画整理事業	287,000
	後期高齢者医療	1,109,000
	農業集落排水	108,000
	計	21,830,000
公営企業会計	水道事業会計	3,664,874
	下水道事業会計	4,324,862
	計	7,989,736
合計	67,804,736	

当初予算
平成26年度一般会計予算の概要について問う。

◎平成26年度一般会計予算の総額は、379億8500万円です。前年度との比較は、額として12億2900万円の増、率にして3.3%の増となり、過去最大の予算規模となります。

歳入は、市税の増、並びに消費税の引上げに伴う地方消費税交付金の増が見込まれます。

歳出は、災害時の防災拠点機能を備えた本庁舎別棟建設工事費や公債費の増加が見込まれます。

主 な 事 業 に 注 目

安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり

- 次世代自動車導入促進事業 707万円
- 災害支援体制整備事業 1億272万円
- 地域防犯体制支援事業 537万円

利便性が高くうるおいのあるまちづくり

- 鴻巣駅西口周辺道路整備事業 1,300万円
- 生活道路改良事業 3億8,580万円
- 市道A-1004号線整備事業 9,000万円
- 鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業 2億1,830万円

すべての人が健やかで思いやるのあるまちづくり

- 障がい者等歯科診療運営業務委託事業 1,000万円
- 子育てフェスティバル開催事業 172万円
- こどもデイサービスセンター管理運営事業 1,744万円
- 病児保育事業 1,580万円

いきいきと個性かがやく活力あるまちづくり

- プレミアム付商品券発行補助事業 1,900万円
- 鴻巣・行田地区経営体育成基盤整備事業 422万円
- 荒川河川敷花いっぱい事業 1,777万円

市民協働のまちづくり

- 市民が主役のまちづくり地域懇談会事業 10万円
- 市制施行60周年記念広報事業 1,061万円
- 行政情報番組放送事業 229万円

心ゆたかできめきのあるまちづくり

- 吹上総合運動場改修事業 3,883万円
- 小学校施設維持管理事業(エアコンの設置) 2億9,721万円
- 中学校施設維持管理事業(エアコンの設置) 1億5,247万円
- 図書館管理運営事業 2億4,891万円
- 吹上複合施設建設事業 9億7,220万円

スリムで効率的な行政経営によるまちづくり他

- 基幹系システム再構築事業 3億6,480万円
- 本庁舎改修事業 14億5,409万円
- 市制施行60周年記念事業 1,320万円

☑インターネット中継をご利用ください。広く市民の方々に市議会をご理解していただけるように、本会議の「生中継」と併せて「録画中継」も実施しています。傍聴に来ることができない場合でも、お好きな時間に本会議を録画でご覧いただけます。

反対討論

本市は、合併以来一貫して都市基盤整備強化、鴻巣、吹上、川里3地区の行政拠点等の施設整備、合併特例債推進型予算が組まれてきましたが、今、市町村合併の副作用に苦しむ自治体の急増が危惧されています。大型施設の維持管理費など、人口減の中で、過剰投資は全自治体の問題であると思います。自治体は身の丈に合った最低限のサービスとは何かを住民と徹底的に考え直して、支出にメリハリを付けなければ、地方が国に頼る構図はいつまでも変わらないうというのが結論だと思います。大型開発を進め、将来のために基金が必要と貯め込み、現在、税を払っている人に福祉切り捨て増税路線は正しくありません。本年度予算は、仕事量が増えているにも関わらず、人件費が1億2千万円減らされ、物件費は8億円増、扶助費は約2億円増、普通建設費は約3億円増、公債費は5億円増となります。このようなか中、市長は更なる大型投資であるごみ処理施設、総合病院誘致をはじめとする幾つかの大型事業に取り組みむことが中核都市としての位置付けとしてしています。どこでも身の丈に

合った住民サービスを第一とすべきです。ソフト事業はびっくりひな祭り、花まつり、花火大会、映画館とイベント頼みが市民の命を守る施策となるのでしょうか。高齢者・弱者を大切に政治への転換こそなすべき第一の行政の責務ではないでしょうか。身の丈に合った施策をするべきであり、過大な投資などは慎重に決めるべきであるため、反対するものです。

賛成討論

市長は、施政方針の中で市政の残された課題について、全力を挙げてこれに取り組みとしたワンランクバージョンアップした活力あるまちづくりに尽力したいとされました。平成26年度予算は、様々な方法を取り入れながら各種事業のピークを迎えた予算となっており、市長が目指している新ごみ処理施設、総合病院誘致等の大型事業、このす花まつり、市民映画館などの新しい鴻巣市らしさの追求、新しい鴻巣文化の創造等に取り組んだものです。財源確保に大いに努力されたことや基金を確保する等して、過去最大の予算規模となる中で、将来を見据えた予算編成の取り組み姿勢が認められる

ことから、賛成するものです。

当初予算 災害支援用マンホール トイレ等の設置

〇設置予定の施設と時期等は。
〇指定避難所となる小学校に設置予定で、1学校につき太陽光パネル付照明灯2基、自動ポンプ井戸1基、マンホールトイレ10基です。平成26年度は、鴻巣東小学校、赤見台第一小学校、下忍小学校、広田小学校の4校に、夏休み期間を中心に工事を進めていく予定です。



マンホールトイレ

当初予算 減債基金積立金は

〇普通交付税の合併算定替による加算が平成32年度終了する。公債費の見込みと、その返済に充てる減債基金の金額は。

〇減債基金は、平成23年度から27年度までに、毎年2億円ずつ10億円を目標に計画していますが、引き続き積み立てる予定です。公債費については、合併特例債と臨時財政対策債

等の借入もあり、概ね50億円を超えると考えております。

〇減債基金
地方公共団体が借り入れた地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられる基金です。

当初予算 財政調整基金残高は

〇財政調整基金繰入金を13億円予算措置しているが、平成26年度末の基金残高の見込みは。
〇平成25年度末の基金残高は約35億円となり、26年度末では約22億円となる見込みです。25年度の標準財政規模では9.6%の割合です。

〇財政調整基金
年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てを行い、不足する年に取り崩すことができ、計画的な財政運営を行うための基金です。

当初予算 鴻巣駅西口周辺道路 整備事業

〇鴻巣駅西口周辺の道路の拡幅はどこを行うのか。

〇鴻巣駅西口駅前広場の改修に関連した、市道C-129号線の拡幅整備を実施するものです。JR高崎線と並行した狭隘な道路について、栄町部分を拡幅整備します。

当初予算
**15%プレミアム付商品券
の発行補助事業**

問内容と発行時期は。

答鴻巣市商工会に1900万円を補助金として交付します。発行総額は、1億3800万円で15%のプレミアムがつくことにより4月からの消費税引き上げによる消費の冷え込みが懸念されるなか活性化の一翼として期待されます。発行時期は、6月下旬から7月上旬の予定です。

当初予算
子育てフェスティバル開催事業

問事業の内容は。

答子育て家庭が適切な時期に必要な支援を受けることができるよう、情報提供や子育て家庭の不安の解消方策、父親の育児参加と働く母親に多様な働き方を提案するセミナーを同日に開催します。

具体的には、父親の育児参加（イクメンプロジェクト）に関する講演会、育児に関する相談、ベビーマッサージの模擬体験、ブックスタート事業の体験等を考えており、秋以降、市民活動センターを会場とし親子500組程度の参加を予定しています。

当初予算
**自殺対策事業
「こころの体温計」**

問こころの体温計とは。

答眠れない、やる気がおきないなど、こころの疲れを感じたら、携帯電話やパソコン端末を使って「こころの体温計」のページへアクセスし、簡単なアンケートに答えることにより、ストレス度・落ち込み度をチェックできるシステムです。

もし不調ということであれば、医療機関の紹介等につなげていくことができるようになります。



当初予算
集会所建設の補助

問集会所建設等補助事業の補助金が60万円から増加した理由は。

答今年度新たに集会所建設を予定している自治体に補助するものです。

具体的には、用地購入費の半額の715万円と集会所建設費用の限度額900万円の合計1615万円を計上するものです。

当初予算
上谷総合公園整備事業

問市民プール跡地に予定しているスケートボード場整備の費用は。

答上谷総合公園事業の3億1494万円の内訳として、市民プール跡地整備に2億4000万円、東側整備に4000万円、テニスコート整備に3494万円となります。市民プール跡地整備費のうちスケートボード場には6600万円が示されています。今後、実施設計を行い、詳細設計により金額等が決まってくるものと考えています。

当初予算
石綿セメント管の状況は

問石綿セメント管布設替えの進捗率及び残延長は。

答平成17年度末時点での残延長は約52kmで、平成25年度末の見込みは、約9.2kmです。なお、平成26年度に予定している布設替え延長を差し引くと平成26年度末での残延長の見込みは約5.4kmとなり、概ね9割の布設替えが終了する見込みです。

当初予算
病児保育事業

問利用方法及び対象年齢は。

答平成26年4月1日からハリオス会病院内においてスタート。開所時間

は、8時から18時です。利用方法は事前に登録をし、利用希望日前までに予約をし、かかりつけ医で受診し「診療情報提供書」を発行してもらい、病児保育室に提出します。利用料金は、1日2000円とおやつ代です。病児保育の対象は、概ね10歳までとしており、幼稚園や保育所・小学校を通じて、病児保育利用の手引きを配布します。

○病児保育事業

普段保育園等に通っている子どもが風邪などの軽い病気にかかり集団保育が不可能な場合に、その子どもを預かること。

条例の制定
**空き家等の適正
管理に関する条例**

問生活環境の保全及び安全で安心なまちづくりの実現のための条例は。

答空き家等が放置され、管理不全な状態となることを防止するため、所有者等の責務や実態調査、立入調査等ができることを定め、行政が指導、勧告、命令等、場合によっては行政代執行ができることを定めました。また、この条例では、県内初となる空き家等審議会を設置します。審議会の委員は、弁護士、建築士等から成り、専門的立場から空き家等の適正管理に必要な事項等について

審議することができ規定を設けました。本条例は、平成26年7月1日からの施行となります。

条例の制定 鴻巣市コウノトリの 里づくり審議会条例

問 関東では6つのエリアでコウノトリの里づくり事業を推進。鴻巣市は北本市、桶川市、吉見町、川島町の3市2町で構成する荒川中流域エリアに属するが、事業は合同で推進していくのか。

答 すでに3市2町で荒川中流域コウノトリ地域づくり連絡会を組織し、このエリアで地域振興、経済の活性化を進めるため意見交換を行っています。また、国・県、5団体で野田市の飼育状況を現地視察、吹上地域で試験的に行っている冬水田んぼの確認など、勉強会等を実施しています。

問 すでに条例が策定されているところはあるのか。

答 この審議会条例については、飼育基本計画を策定していただく審議会です。現在3市2町の中ではありません。

条例の一部改正
「保育所等訪問支援事業」
つつみ学園

問 保育所のほかに幼稚園、認定こども園、小学校、特別支援学校が含まれます。

問 つつみ学園の定員数及び年度途中での通園開始は可能か。

答 定員は30名で、現在通園している児童は12名です。25年度も途中で5名が通園を開始しており、保育士の配置等受け入れ態勢を整え対応しています。

○保育所等訪問支援事業
保育所等を利用して障がい児がその集団の中で、障がい児以外の児童と集団生活をスムーズに行えるよう、つつみ学園の職員がその保育所等に訪問し、障がい児への直接支援を行ったり、保育所等の職員に情報提供や支援を行うものです。

条例の一部改正
敬老祝金に「長寿者家族
慰労金」を追加

問 該当する長寿者数と基準日は。

答 平成26年度は在宅者が12名、施設入所者が6名の予定です。100歳の誕生日を基準日としますが、3か月未満の短期入院は在宅扱いになります。

問 在宅者と施設入所者で区別した意図は何か。

答 介護施設へ入所の場合、原則9割が公的扶助ですが、在宅における家族介護は、公的扶助が少なく、さら

に介護給付費の抑制にも貢献していただいています。このことから、本だけでなく、その家族を慰労したいという趣旨のものです。

○長寿者家族慰労金
100歳の誕生日を迎えた長寿者本人に敬老祝金5万円が支給されます。それに追加して「長寿者家族慰労金」として、同居の家族に対して10万円が支給されるものですが、長期の病气入院や、施設入所等の場合は支給の対象にはなりません。

補正予算
旧中央図書館の解体は

問 旧中央図書館は解体工事をしないで現状のまま売却を検討しているのか。

答 昭和56年の耐震基準改正以前の建物であり、老朽化して耐震性に問題があることから、解体することを主体に設計を実施しましたが、総務省の公共施設解体に伴う起債対応の対象になることから、解体する場合と現状のまま売却する場合の2つの選択肢の中で現在検討しています。また東口駅通り地区再開発事業の代替地として提供も含めた条件のもとで実施していきたいと考えています。

補正予算
大間地区の雨水幹線
管渠築造工事の状況は

問 雨水幹線管渠築造工事の物件移転

補償料2000万円の減額は。

答 平成26年度に予定している大間地区の雨水幹線管渠築造工事で当初は立杭を3か所予定していましたが、改めて設計精査したところ2か所ので工事ができることから、中間立杭部分の水道管の切り廻し工事が不要になったために減額するものです。

※管渠：地中に埋設された配水管

補正予算
道の駅整備事業の状況
進捗状況は。

答 平成25年12月に委託業者と道の駅基本構想策定業務委託契約を締結しました。用地は、農業振興地域のため、さいたま農林振興センター等の関係機関と調整を進めます。

なお、県内で農業振興地域に道の駅を整備したところは、杉戸町「アグリパークゆめすぎと」や吉見町「いちごの里よしみ」等があります。



みちの駅アグリパークゆめすぎと